

目標達成計画



事業所名 グループホームえみな ゆうまいの家

作成日: 令和 3年 10月 1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	1	開設時に事業所理念を職員間で話し合い、策定したが、玄関やフロアの掲示のみで職員がきちんと把握できていなかった。	職員一人ひとりがきちんと理念を理解・共有して日々のケアに取り組める。	理念の実施、チーム力の向上のため、月1回の会議の場で会議資料の初めに毎回掲示し、唱和を行う。	1ヶ月
2	4	運営推進会議を新型コロナウイルス感染防止のために開催していなかった。また、ホームだよりも作成していなかった。	書面、リモート等を駆使し、2ヶ月ごとに運営推進会議を行うとともに、ホームでの日常の様子を参加者に伝えていく。	書面、リモート等で運営推進会議を開催する。開催ができない場合は、職員のみでの運営推進会議を開催し、書面にて運営推進委員へ議事録を送付し意見を求める。ホームの日常の様子がわかる写真を添付しホームだよりの代わりとなるようにする。	2ヶ月
3	6	月1回の職員会議にて身体拘束やスピーチロックに関する内容の検討や研修等は実施していたが、身体拘束廃止委員会としては取り組めていなかった	身体拘束廃止委員会を3ヶ月に1回開催するとともに、年2回の研修を行う。	法人内で各事業所から職員を選出し、3ヶ月に1回の身体拘束廃止委員会を開催し、内容を職員会議にて伝達する。当面は、ホームの職員会議に合わせ、3ヶ月に1回身体拘束廃止委員会を開催し、年2回研修も行う。	3ヶ月
4	11	月1回の職員会議や業務の中で職員の提案は聞いているが、その提案を次に繋げて進めることができていなかった。	職員の意見や提案を業務に反映するために、最低でも年に1回は職員一人ひとりと面談を行う。	職員との個人面談を行うことで職員の意見や提案を聞き、日々の業務に反映していく。管理者のみではすべてを反映するのは難しいため、提案者を中心としたチームを組み、提案を実行していく。	2ヶ月
5	35	昨年度は日中想定避難訓練を年に1回しか開催できなかった。また、BCPや備蓄類の準備は行っているが、職員が把握できていなかった。	年2回の避難訓練(日中想定・夜間想定)を実施する。BCPや備蓄類について、職員が一人ひとり把握する。	火災・自身・水害等に対する避難訓練を年2回実施する。BCPは各フロアにファイルを置き、周知に努める。備蓄類はリストを備品庫の見やすいところに掲示する。	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。